



議会だより

No.261
9月定例会
令和5年10月24日



▼地域の実力で実現した
花火大会
「蓮池小 歓喜に沸く」

コロナワクチン接種期間の延長	2
令和4年度決算を審査	4
町政 ここを聞く 議員8人が登壇	9
委員会のうごき	14

種期間の延長

補正予算

教育環境向上などに補正予算

条例の一部改正4件、令和5年度各会計補正予算、令和4年度各会計決算認定などを審議しました。(審議の結果は8ページに掲載)
また、8人の議員が一般質問を行い、町当局の考えをいただきました。(9~13ページに掲載)

ワクチン接種の期間延長
新型コロナウイルス感染症のワクチンについて、特例臨時接種の実施期間が令和6年3月まで延長されたことに伴い、接種費用を増額補正しました。接種体制について、集団接種は、はりま病院での実施を予定しています。また、より一層個別接種を推進し、各医療機関と連携して実施するため、新たに必要となる経費について増額補正しました。



▲メンテナンスでタブレットがより使いやすく

タブレット端末の

修理費用を増額補正

令和3年度から小・中学校の児童生徒が学校や自宅で使用しているタブレット端末について、当初見込みより修理件数が増えたため、修理費用を増額補正しました。

質疑

問 タブレット端末導入後の修理件数は。

答 令和3年度は3件、令和4年度は64件あった。

令和5年度は4月から7月まで29件あり、年間で見込んで115件を見込んでいる。

問 タブレット端末の修理内容と、小・中学校の割合は。

答 主な修理内容としては、キーボードの不良や画面が反応しない、電源が入らないなどのバッテリーの不良があった。割合は、小学校が95%で中学校が5%である。

保育施設などに

支援金を支給

令和4年度に引き続き、兵庫県が実施する「保育

施設等への一時支援金事業」により、物価高騰の影響を受けている保育施設や学童保育施設に対し、光熱水費や食糧費などの価格上昇分の一部を支援するため、支援金に係る費用を増額補正しました。

幼稚園施設を改修

保育所等待機児童の解消を目的として、令和6年4月から蓮池幼稚園の空き教室で、小規模保育所(0歳から2歳児、定員18名)事業を実施するため、施設の一部を改修するための費用を増額補正しました。

また、幼稚園のトイレの和便器を洋便器に取り換えるため、工事費用を増額補正しました。

学校給食費として

寄付を受領

学校給食費の公会計化に伴い、播磨町学校給食会より寄付を受けました。同会の剰余金を、播磨町学校給食費調整基金に積み立てるため、増額補正しました。

コロナワクチン接

価格高騰給付金

不足分を増額補正

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給対象世帯である、住民税均等割非課税世帯を3500世帯と見込んでいました。しかし、令和5年度の当初課税の結果、対象世帯が約4000世帯であったことから、不足する500世帯分の給付金について増額補正しました。

町内全域で

防災訓練など実施

令和5年12月3日(日曜日)の午前9時に予定している防災訓練において家庭内備蓄などの啓発を行います。また、令和6年2月に実施予定である町内各小学校の5年生の防災教育活動を実施します。町全体の防災意識の向上を図るため、防災教育等委託料を増額補正しました。

ご厚志を消防団活動に

ハリマ防災株式会社様より、消防団活動への支

援として企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました。ご厚志を役立て、消防団本部や各分団にLEDワークライトを配備します。

条例 防疫等作業手当の特例を廃止

新型コロナウイルス感染症対策に従事した職員について、当該職員に対する感染リスクに加え、厳しい勤務環境の中、精神的緊張が想定されることにより、防疫等作業手当の特例を措置していましたが、しかし、同感染症が5類に移行したことに伴い、この特例を設ける必要性がなくなり、廃止しました。

財産区特別会計の補正

野添村財産区が所有する上野添一丁目の土地を、一般競争入札により売却したため、歳入の増額補正を行いました。

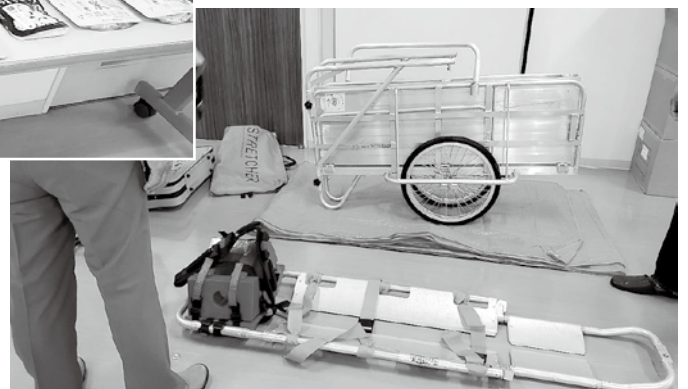
質疑

問 売却額の2割を町の

▼軽量コンパクトな担架とリアカー



▲おいしくなった備蓄食
(兵庫県防災士会 東播エリア)



事務経費にできる。今回売却までに多大な事務を要しているが、当該経費

答 墓地を廃止し更地にするために、財産区として売却収入以上の必要経費を要したためである。

その他 土地開発公社 解散

都市基盤整備と公共福祉の増進を目的として、昭和48年4月に、兵庫県町土地開発公社が設立されました。

現在は、土地の処分が全て終了し、整備が一段落しました。また、低金利が続く社会情勢から、同公社を活用した用地の先行取得の必要性が低くなりました。

こうした状況を踏まえ、令和5年2月、同公社理事会で、解散が決まりました。

質疑

問 解散に当たり、出資金が返還される。返還金は出資の目的に沿った使用方法とすべきと考えられるが見解は。

答 出資金に加え剰余金もある。返還後は、公社の目的でもある土地の購入や造成費用に充てていきたい。

ここに使われた

一般会計

歳入 141億5579万円

	令和4年度決算	前年度比較	
町税	56億8724万円	1億 25万円 ↑	自主財源
繰越金	2億2563万円	5億2200万円 ↓	
繰入金	11億4058万円	8億5650万円 ↑	
諸収入など	3億4655万円	2億 80万円 ↓	
国庫支出金	26億9715万円	10億 136万円 ↓	依存財源
町債	9億7411万円	11億5857万円 ↓	
地方交付税	10億2351万円	1億3070万円 ↓	
県支出金	9億6025万円	693万円 ↓	
その他	11億74万円	2920万円 ↓	
総額	141億5579万円	20億9280万円 ↓	

↑ 増加 ↓ 減少

※自主財源：町が自らの権限に基づき自主的に徴収できる財源。
依存財源：国または県から定められた額を交付、割り当てられる財源。

決算審議（審査）の流れ

9月5日
本会議で審議開始
→提案説明・質疑
→決算特別委員会を設置

9月15日
19日
20日
決算特別委員会で審査開始
→所管課別 補足説明・質疑
→討論・採決

9月22日
本会議で審議
→委員長報告
→会計ごとに討論・採決

令和4年度決算については決算特別委員会を設置して、9月15日・19日・20日の3日間で各会計の歳入歳出決算事項別明細書などにに基づき審査を行い、一般・特別会計の決算を認定しました。水道・下水道事業会計については、決算を認定し、利益の処分を可決しました。（質疑は6〜7ページに掲載）

令和4年度の一般会計と特別会計の合計決算額は、歳入が前年度より8.8%減の224億2187万円、歳出が8.7%減の202億541万円です。

一般会計の歳入は前年度より12.9%減の141億5579万円となっており、主な要因としては、町税などは増加したが、子育て世帯臨時特例給付金を実施した令和3年度と比べて国庫支出金が減少したことや、2市2町広域ごみ処理施設建設費負担債が減少したことなどによるものです。

一般会計の歳出は前年度より12.4%減の133億2844万円となっており、主な要因は、廃棄物中継施設整備などの衛生費が減少したためです。

財政力指数（1に近いほど財源に余裕があるとされます）は前年度より0.015ポイント減の0.837（過去3か年平均）です。

経常収支比率（人件費や公債費など経常的な支出に対する、町税などの経常的収入の割合を示し比率が高いほど財政の硬直化が進んでいます）は前年度より6.6ポイント増の93.3%です。

令和4年度の一般会計の町債発行額は前年度より54.3%減の9億7411万円で、令和4年度末残高は前年度より0.5%増え116億8903万円となっています。

一般会計と特別会計で16の基金を設けており、令和4年度末残高は79億7235万円で前年度より3.2%減少しています。主なものは、財政調整基金の38億3490万円（対前年度1.0%増）公共施設整備基金の10億7766万円（対前年度11.4%減）国民健康保険事業財政調整基金10億8568万円（対前年度5.1%減）です。

私たちの税金は

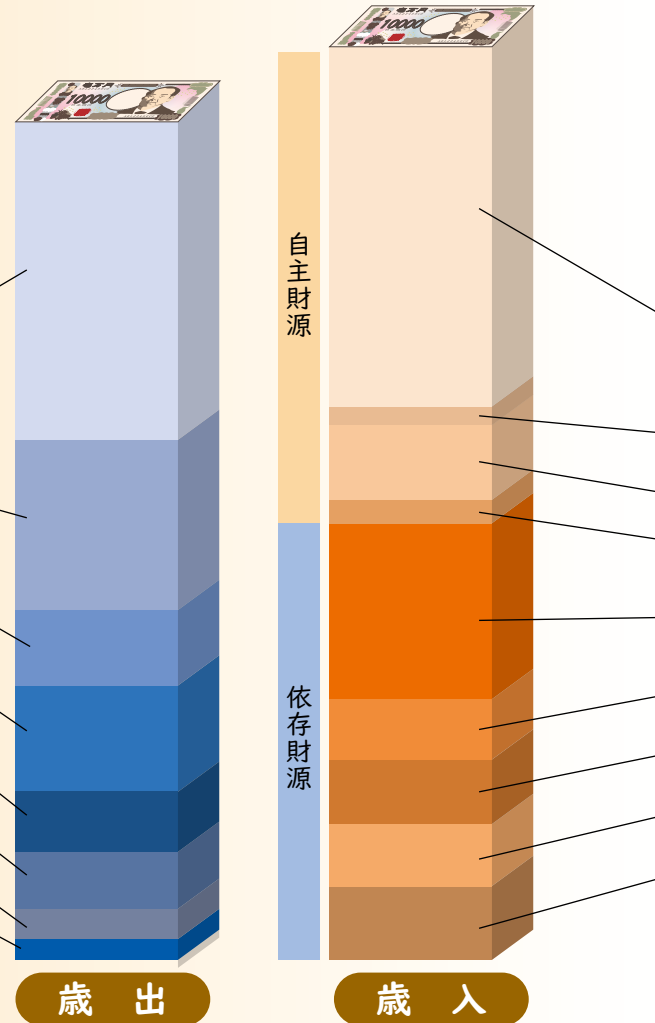
一般会計

歳出 133億2844万円

	令和4年度決算	前年度比較
民生費	50億1561万円	2億1407万円 ↓
教育費	27億3822万円	1億1473万円 ↓
衛生費	11億9892万円	14億1215万円 ↓
総務費	17億 232万円	3174万円 ↓
公債費	9億5421万円	410万円 ↓
土木費	9億1262万円	4188万円 ↓
消防費	4億9292万円	1629万円 ↓
その他	3億1360万円	5954万円 ↓
総額	133億2844万円	18億9452万円 ↓

↑ 増加 ↓ 減少

※千円以下は切り捨てしているため、合計が合わない場合があります。



一般会計とは
一般会計とは、行政の基本的な経費（福祉・教育・土木など）に要する経費を町税など、主な財源として経理する会計です。

特別会計とは
特別会計とは、特定の歳入歳出で経理する会計です。事業目的を限定し、

一般会計および各特別会計決算額			
会計等区分	歳入総額	歳出総額	
一般会計	141億5579万円	133億2844万円	
特別会計	国民健康保険事業	36億6781万円	36億3689万円
	財産区	12億7640万円	2110万円
	介護保険事業	28億 158万円	27億1401万円
	後期高齢者医療事業	5億2027万円	5億 496万円
一般・特別会計の計	224億2187万円	202億 541万円	
公営企業会計決算額			
会計等区分	歳入総額	歳出総額	
水道事業会計	収益的収支(税込み)	6億6523万円	5億4726万円
	資本的収支(税込み)	4億7556万円	5億4663万円
下水道事業会計	収益的収支(税込み)	9億6236万円	8億4259万円
	資本的収支(税込み)	4億3192万円	7億5596万円
公営企業会計の計	25億3507万円	26億9244万円	
合計	249億5694万円	228億9785万円	

収益的収支：経営活動の収益とこれに対する費用

資本的収支：将来のサービスの安定を図るための建設投資、それに要する資金の収受

令和4年度の各事業の執行が、適切妥当であったのかを慎重に審査するため、同審査を決算特別委員会に付託し、3日間にわたり、さまざまな視点からの質疑を行いました。

グラウンド 使用環境の向上は

Q 学校開放委託料と使用料の収支で100万円以上の余剰がある。グラウンドや体育館の使用環境の向上に使うべきでは。

A 学校開放をより活性化していく流れもある。歳入の余剰分をそういったところに充てていくことも検討したい。

就学援助制度の 認定基準は

Q 学用品・給食などの費用について、家庭の実情に応じて援助する制度就学援助制度の認定基準は。

A 所得額が認定基準額以下の世帯が対象である。特別な事情（失業中・被災など）があれば、審査のうえ認定する場合もある。

学童保育の 待機児童は

Q 学童保育で待機児童が発生していると思われるが、状況は。

A 学校によりばらつきはあるが、定員を超えて弾力運用を行っている。増設も含めて今後の対応を協議している。



▲校庭の快適な使用環境を



▲研修を重ねる民生・児童委員の皆さん

禁煙の まちづくりを

Q 禁煙治療費の助成件数が減っているが、健康寿命の延伸のために、禁煙などの啓発を更に進めるべきでは。

A 治療薬の関係で助成件数が一時的に減っていたが、受動喫煙防止のためにも、積極的に進めていきたい。

民生委員児童委員 の負担軽減は

Q 成り手を確保する対策が急がれるが、過剰な負荷がかからないように活動を整理し縮小を図るなど、見解は。

A 活動内容や会議の統合化など、民生委員児童委員協議会と今後も協議しながら、負担の軽減を図りたい。

町内巡回補導の 現状は

Q 巡回補導は長期休暇などの子どもが外出しやすいタイミングを中心に行っているのか。

A 基本的には月に1度行っているが、体育大会や卒業式などの学校行事の際も巡回している。

決算特別委員会

公園トイレの改修は

Q 公園は憩いの場であり、きれいで今の時代に合ったトイレに改修する必要がある。整備に向けた検討は。

A トイレ改修は多額の費用がかかる。公園施設長寿命化計画で盛り込めるか検討中であり、利用形態に合った整備を考えたい。

消火栓とホース格納箱の数の乖離は

Q 消火栓の数は年々増えているが、ホース格納箱は減っている。この点について、町の見解は。

A 消防車が入りやすい場所で、交通上・防犯上懸念があるところは格納箱の撤去・移設はやむを得ないと考える。

住宅耐震の更なる促進を

Q 住宅の安全のために、昭和56年以前着工の建物に耐震化を推進しているが、更に推し進める手立ては。

A 住宅の所有者の判断で、改修や耐震診断を受けていただくことになるが、町としても補助制度を継続したい。



▲ 蜚育成水路としてのビオトープ（野添北公園内）



▲ 減りつつあるホース格納箱

ホームページの解析は

Q 町公式ホームページのアクセス数や流入経路などの解析は誰が年に何回くらい行っているのか。

A 職員が少なくとも年に1回は行っており、大きな動きがあった場合には、解析することがある。

新規就農者確保事業費補助金は

Q 新規就農者の確保に有効な施策と考えるが、補助要件や、何人に支給しているのか説明を。

A 青年等就農計画書の認定を受けた方などを対象に5年間支給する。現在の対象者は2名である。

野添北公園ビオトープの目的は

Q 蜚の育成を継続しているが、発生数も伸びず数年が経過している。管理委託料を支出し事業を実施する目的は。

A 地域住民に環境学習の場を提供するために平成23年から実施しており、蜚育成水路の清掃などを行っている。

議案の審議結果【9月定例会】

全 員 賛 成 で可決・認定した議案

		議 案	議 決 日
町長提出	条 例	監査委員条例の一部を改正する条例制定	9/22
		町長等の損害賠償責任の上限を定める条例の一部を改正する条例制定	9/22
		職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例制定	9/5
		印鑑条例及び手数料条例の一部を改正する条例制定	9/5
	令和5年度 予 算	一般会計補正予算（第3号）	9/5
		国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/5
		財産区特別会計補正予算（第1号）	9/5
		介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9/5
		後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	9/5
		下水道事業会計補正予算（第1号）	9/5
		一般会計補正予算（第4号）	9/22
	令和4年度 決 算	一般会計歳入歳出決算	9/22
		国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9/22
		財産区特別会計歳入歳出決算	9/22
		介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9/22
		後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9/22
		水道事業会計利益の処分及び決算	9/22
		下水道事業会計利益の処分及び決算	9/22
	その他	兵庫県町土地開発公社の解散の件	9/5

令和4年度 政務活動費の決算報告

政務活動費は、同じような考えを持つ議員が構成する会派に対し、半期ごとに所属議員1人当たり月額1万円が交付され、その用途は行財政に関する調査研究費、講演会参加などの研修費、会議費、そして図書購入などの資料購入費に限られています。収支報告書への領収書の添付も義務付けられています。令和4年度は168万円交付し、93万7328円の返還がありました。

《《《 会派別の用途など 》》》》

（単位：円）

会 派	議員名	交付額 (収入額)	支 出 額					返還額	主な支出内容
			調査研究費	研修費	会議費	資料購入費	計		
公 明 党	㊦木村晴恵、大瀧金三	240,000	0	60,550	0	18,062	78,612	161,388	研修受講（8月） 書籍購入
新 政 会	㊦奥田俊則、神吉史久、 河野照代、藤田博	480,000	0	0	0	35,052	35,052	444,948	書籍購入
政 風 会	㊦藤原秀策、岡田千賀子	240,000	0	58,710	0	179,293	238,003	1,997	研修会参加（7月） 書籍購入
日本共産党	㊦野北知見、松岡光子	240,000	0	112,600	0	55,647	168,247	71,753	研修会参加（7月） 書籍購入
無 所 属	㊦大北良子	120,000	0	68,460	0	62,682	131,142	0	研修会参加（7月） 書籍購入
無 所 属	㊦香田永明	120,000	0	0	0	0	0	120,000	
無 所 属	㊦松下嘉城	120,000	0	0	0	2,750	2,750	117,250	書籍購入
無 所 属	㊦宮宅良	120,000	0	15,385	0	84,623	100,008	19,992	研修受講（7,10月） 書籍購入

㊦=代表者 ※令和4年度中の議員（代表者を含む）を表記しています。 ※無所属議員も交付対象です。

町政

ここを聞く



▲録画配信

9月12日、13日の2日間、8人の議員が一般質問を行い、町政全般にわたり町当局の考えをたどしました。

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針に対する質疑、政策的提言などを執行機関に行うものです。

質問者		質問事項
1	チーム新星 細田 武男	(1) 歩道・路側帯の幅・勾配等は (2) 自治会活動の限界は (3) サテライト・居場所づくりは
2	チーム新星 神吉 史久	(1) 部活動の地域移行は (2) 避難しやすい環境整備は
3	公明党 木村 晴恵	(1) ため池や雨水幹線による水災害の軽減は (2) 献血の啓発を
4	政風会 岡田 千賀子	(1) 気候変動と熱中症対策は (2) 地域の住環境を守るための対策は
5	無所属 浅原 俊也	(1) 公有財産の管理等は (2) 熱中症対策は
6	無所属 竹内 基就	(1) 花火大会の実施可能性は (2) プロ野球等を活用した町の広報は (3) イベント開催等における警備体制強化及び防犯対策は (4) 福島県などに対する町としての風評被害対策は
7	播磨町民の会 板谷 良祐	(1) 第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略の実効性を (2) 地元就職促進及びUターン就職応援を (3) 入札制度は
8	公明党 大瀧 金三	(1) 学校施設の防災機能強化を (2) 認知症高齢者やその家族の支援は (3) ウォーターフロント開発事業は (4) 住民からの情報収集システムを

歩道の幅・勾配などは

チーム新星
ほそだ たけお
細田 武男



町長 順次改修していく



▲勾配が連続する歩道

問 以前の基準で施工された歩道では、高齢者や視覚障がい者、車いす使用者など全ての歩行者にとって安全で円滑な移動が可能とはいえないが、この点について町の考えは。

答 重点整備地区から改修しているが、工事費が高額になることから、それ以外の場所では段差解消など、可能な限り歩行者の安全かつ円滑な通行の確保に努めている。

ゴミステーションは

町長 相談しやすい環境を調整する

問 自分の地区のゴミステーションが遠く、年齢とともにその距離が負担となっている住民が、あちこちにおられる。今後増えていくこの問題の判断を各自治会にのみ任せるには無理が出てくるが、町の考えは。

答 自治会区域を超えたゴミステーションへのごみ出しについては、双方の自治会で協議していただき、地域でより良い利用方法についてご検討いただいている。自治会間でも気軽に相談できるように、関係課との調整を図り、コミセンや全自治会長との会合の場などで行政側から発信し、協働のまちづくりを進めていく。

その他の質問
▼歩道の目の粗いグレーチングは
▼サテライト・居場所づくりは
▼買い物・通院など住民の移動手段は



チーム新星
かんき ぶみひさ
神吉 史久

活動を守るための予算は

教育次長 何らかの形で対応は必要



▲外部指導者の指導を受けるソフトテニス部

問 子どもファーストを標榜する播磨町の部活動地域移行において、経済的負担の増加により、参加できない子どもも出てはならない。地域移行後の受益者負担の考えは。

答 地域移行により、部活動の形態が学校教育から社会教育へ転換する。社会教育の費用は原則受益者負担と考えるが、移行期間の令和10年度までは、スポーツクラブ21はりまの入会金・年会費を全額免除し、各クラブの会費は極力低く設定するよう指導している。

自主避難所での物資提供は

町長 物資は避難者が準備し持参

問 自主避難所開設時に、食事や寝具など各自での準備を求めている。必要に応じて災害備蓄などを活用し、避難しやすい対応を行えないか。

答 地域防災計画で、自主避難所では、飲料水・生活必需品などは供与せず、避難者が準備し持参すると定めている。

献血の重要性 広く啓発を

公明党
きむら はる え
木村 晴恵



町長 関係機関と連携し推進する



▲「献血」のご協力を

問 献血可能前の中学生に、献血の意義や理解を深める啓発の取り組みは進んでいるか。

答 現在の中学校学習指導要領では、献血は対象外であるが、意義・現状などを学習することは有益であり、関係機関とも連携し、普及啓発ポスターなどを活用し、啓発を進めていく考えである。

問 将来にわたって安定的に血液を確保するため、広く町内全域での啓発に取り組みべきである。そのために「献血推進計画」を策定すべきである。

答 「献血推進計画」の策定は行っていないが、年に3回役場で献血を行ったり、広報活動や担当者の研修派遣など、献血の推進を図っており、今後もホームページ、LINEなどでも広く住民に対し協力を呼び掛ける。

問 献血の大切さは、今後社会的な大きな課題にもなってくると思う。その重大性について、町として何かのイベントの時に献血車に来てもらうなど、講演や研修を入れるなどの考えは。

答 献血事業については、日本赤十字社や兵庫県赤十字血液センター、ボランティア団体などと協力して進めている。ご提言もいただいたので、今後できるのであれば、日本赤十字社などとも連携して、町のイベント時に啓発できるように考えていく。

その他の質問
▼ため池や雨水幹線による水災害の軽減は

熱中症予防対策は

政風会
おかだ ちかこ
岡田 千賀子



町長 暑さ指数を基準に対応する



▲熱中症対策用のテントでひとやすみ

問 教育現場における熱中症予防対策は。

答 「熱中症事故防止のための対応等について」に則り、体育の授業や部活動、自然学校では、暑さ指数計を複数の教員などで確認している。全小・中学校に配備しているミストシャワーも積極的に活用している。

問 運動会や体育大会での熱中症対策は。

答 児童生徒用テントの設置を考えている。

問 子どもたちから、飲み干した水筒に冷水を補充できる給水器の設置を望む声を聴くが対応は。

答 各コミセン行事や学習教室などは、毎月発行されるコミセンだよりに掲載している。令和5年度は試行的に関係各課で連携し、各施設における行事予定を集約した一覧表をホームページに掲載し、学校園に配布した。

答 現状では、職員室でお茶などの補充を行っているが、給水器の設置に向け検討を進める。

問 夏季の学童保育における熱中症対策は。

答 環境省「熱中症予防情報サイト」の明石地点での暑さ指数を基準に、朝7時で33以上の場合、臨時休業として保護者に連絡用メールなどで通知することとしている。

問 夏休みなどに安全な環境の中で学べる行事などの情報提供は。

答 各コミセン行事や学習教室などは、毎月発行されるコミセンだよりに掲載している。令和5年度は試行的に関係各課で連携し、各施設における行事予定を集約した一覧表をホームページに掲載し、学校園に配布した。

その他の質問

▼気候変動への取り組みは

▼ごみ屋敷対策を

▼ため池の有効活用は

喜瀬川の除草などの目処は

無所属
あさはら としや
浅原 俊也



町長 10月中旬以降に実施



▲雑草が生い茂った喜瀬川

問 特定外来生物ナガエツルノゲイトウが発生し、その繁殖拡大防止のため草刈りが実施されず、葎など多くの雑草が繁茂し樹木が成長している。増水すれば、氾濫につながる危険性や、ポイ捨ての増加、枯れた草による火災が危惧される。いつまで放置するのか。

答 2年間除草を見送ってきた範囲について県との協議が整い、令和5年10月中旬以降に除草作業を実施する。令和6年度からは、従来と同様の除草作業を実施したい。

水路・里道の適切な管理を

町長 現地確認し
対策を講じる

問 水路・里道について、適切な管理の必要があるが、自治会などからの要望についての対応は。

答 職員が現地を確認し、道路や交通の状況から総合的に判断し、転落防止柵の設置や水路への蓋掛けなど対策を講じている。

体育館・武道場にエアコンを

町長 整備に向けて
検討中である

問 熱中症対策として普段の学校での使用に加え、避難所となる場合に備え、学校体育館・武道場にエアコンの早期整備を。

答 全ての小・中学校の体育館に空調設備を整備していく予定である。武道場は今後検討する。

その他の質問

▼公有財産の管理などは
・ため池は
・交番は
▼住民への熱中症対策は

一般質問

花火大会について見解は

町長 経済効果を狙うには有益である



無所属
たけうち けいすけ
竹内 基就



▲夜空を彩る花火

問 令和5年9月に野添コミセン区が主体となり、蓮池小学校のグラウンドで花火大会が行われた。全国の花火大会の経済効果は2兆円を超え、今後、より大規模な花火大会を実施すれば、周辺自治体からの観光客や経済的なメリットが期待できるが、どのように考えているのか。

答 集客は見込まれるが、警備の難しさもあり安全性を第一に考える必要がある。賑わいづくりや経済効果を狙うには有益なツールと考えている。令和6年度は野添コミセ

防犯対策は

町長 警察と連携し
啓発を行う

ン以外でも実施を検討しているところがあり、まちづくりサポート事業として応援していきたい。

問 特殊詐欺が全国で増加しており、令和4年の被害額は8年ぶりに増加した。東播地域での被害額も2億5千万円を超えている。また、闇バイトとしてSNSなどで実行犯を募る構図も明るみになってきた。今後より一層の啓発が重要と思われるが、町としての対策は。

答 高齢者団体や防犯協会に対し、特殊詐欺に関する講話などを実施している。「はりま春風フェス」などのイベント会場でも加古川警察署などと連携し、啓発している。SNSに関する防犯は学校の中でも啓発し、保護者・教職員に対する講習会を開いており、年代に応じた研修を講じている。

PDCA サイクルの実効性強化を

播磨町の会
いたりようすけ
板谷 良祐



町長 数値結果を分かりやすく公表する



▲総合計画達成には毎年の継続的改善が重要

問 第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKGI・KPI目標数値達成に向けてPDCAサイクルを機能させることは最重要事項である。

答 CHECKとACTIONの実施状況が分かりにくく、機能していないと考える。実績値は公表されているが、上下方向修正を含めて分かりやすいダッシュボード（情報の視覚的表示）への改善を。

問 町幹部職員で構成する「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」、外部委員を交えた「播磨町まち・ひと・

しごと創生総合戦略推進会議」で検証しているが、今後は上下方向修正も実施する。ダッシュボードは、令和5年度中に分かりやすいものへ修正する。

入札総合評価方式導入を

町長 令和5年度中に制度内容を公表

問 令和5年4月に、入札に関する「播磨町町内業者優先発注等に係る実施方針」が公表されたが、工事において変動型最低制限価格制度の見直しや工事成績採点表を反映し、町内事業者と意見交換を実施する考えは。

答 工事成績採点表や災害時の応援協定などの地域要件を含めた総合評価方式の内容を令和5年度内に公表する。また、入札制度の変更点の説明と現行制度の更なる改善に向けて説明会を実施する。

その他の質問

▼地元就職促進及びUターン就職支援を

学校体育館にエアコン設置を

党の
おたき
明さん
大龍 金三



町長 全てに設置する予定



▲学校体育館にエアコン設置の計画が進む

町長 支援体制の拡充を図る

認知症の人や家族の支援を

問 年々猛暑化している中、子どもたちの熱中症対策や避難所としての面から小・中学校体育館にエアコンの早期設置を。

答 熱中症対策や適切な避難所運営を図るため、エアコンを設置する予定である。

問 避難所となる学校体育館のバリアフリートイレの整備状況は。

答 小・中学校6校のうち、4校は整備している。残り2校は、大規模改修工事の際に整備する。

LINE通報の導入を

町長 導入する方向で検討する

問 認知症の人が日常生活で偶発的な事故により、他人を負傷させたり破損事故を起こした場合に、その賠償金を保険で補償する支援制度の導入を。

答 本人や家族が法律上の責任を負った場合に、賠償金を補償する個人賠償責任保険の掛け金を町が全額負担する事業を令和7年度に実施する。

問 住民が道路の破損箇所や公園遊具、カーブミラーの不具合などを見つけたら、LINEで通報できるシステムの導入を。

答 町の公式LINEの機能の拡充を予定しており、住民の皆さまが通報できるシステムの導入に向けて検討している。

その他の質問
▼ウォーターフロント開発事業は



▲委員会報告書
はこちら

委員会では議会閉会中も暮らしやすい町づくりに向けて調査・研究をしています。
詳しい内容は播磨町議会ホームページの委員会報告書をご覧ください。



厚生教育

安定的な学校給食の運営は

■5月31日協議会開催

播磨町が実施する学校給食における給食用物資の確保に資するため、基金を設置する。令和5年度より学校給食費の公費計化を実施するにあたり、学校給食に係る経費については、学校給食法に基づき食材料費を学校給食費として保護者などの負担としている。給食物資（食材料）の調達に際して、天候不順の影響や社会情勢の影響などによる価格の高騰により学校給食費に不足が生じる可能性がある。そのような場合に必要な食材料を調達し、学校給食の安定的な運営を確保するため基金を活用する。

令和5年度は、これまで学校給食費を管理してきた播磨町学校給食会が解散することに伴い、同



会が保有する剰余金を寄付採納し、基金を積み立てる。令和6年度以降は、徴収した学校給食費収入額が食材料費支出額を上回った場合にその差額を基金に積み立て、食材料費の高騰により学校給食費に不足が生じた場合は基金を取り崩し食材料費に充当する。

なお、給食費については基金の残高も含めその金額の妥当性を検証し、定期的に見直しを行う。



▲みんなで食べる おいしい給食

【主な質疑応答】

問 給食費について、何年後の見直しを想定しているのか。

答 3年をめどに定期的に見直しを考えている。

問 学校給食審議会は、どのような構成員になるのか。

答 学識経験者、小・中学校長、小・中学校PTA会長、栄養教諭などで構成されると考えている。

総務建設

開発進むおか土山駅北地区

■5月31日委員会開催

土山駅北地区の

まちづくり

平成21年12月の土山駅北地区まちづくり方策検討業務報告書に提示して

いる事業手法は白紙撤回し、改めて地域と行政の信頼回復を図り検討を進める。特に透明性を重視し、地権者を含む地域住民に広く参画いただける機会を確保する。

【主な質疑応答】

問 土山駅北地区のまちづくりの最終計画の目標は、具体的に定めているのか。

答 令和5年度にまちづくりのコンセプトをまとめ、令和6年度に基本構想をまとめる。その後の事業化スケジュールは未定であるが、一般的には長期にわたるものとなり、早くとも令和10年頃になるのではないかと。



▲駅舎からのぞむ土山駅北地区

市街化調整区域の土地利用の検討

播磨臨海地域道路の整備が今後進展することに伴い、町西側に位置する市街化調整区域の土地利用の方向性を検討する。近隣の環境にも配慮しつつ、需要調査を行い、実現性の高いものとなるよう進める。この需要調査は町東側に位置する市街化調整区域についても併せて行う。

【主な質疑応答】

問 需要調査の手法、段取りは。

答 対象エリアの現況や課題、下水道関係も含めて整理し、土地利用の構想を検討する。需要調査を実施する方が実現性の高い検討結果になると考えた。



▲石ヶ池公園パークセンターを緑化啓発に有効活用

緑の拠点施設の方針

緑の拠点施設は、新設せずに、既存施設の石ヶ池公園パークセンターの公園管理棟において運用する。空き空間を活用することで相談会や講習会などの実施が可能である。これに伴い、予定していた播磨町臨海管理センターの事務所移転は行わないこととした。緑化基金は、緑の拠点施設で実施する緑化推進事業や緑化保全事業の財源に充てる。

【主な質疑応答】

問 臨海管理センターから3億円ほど寄付いただいた緑化基金とし、臨海管理センターの事務所を移転するとなっていたが。

答 石ヶ池公園パークセンターへの移転も検討したが、車両の保管スペースや車両の通行に懸念があることから移転はしないと判断した。

都市公園維持管理事業（委託料）の増額

公園施設長寿命化計画改定に伴う委託料は、令和5年度当初予算で2400万円を措置していたが、業務発注の準備を進める中で予算が不足することが判明した。予算額の算出において、経費種別を調査・計画として積算していたが、正しくは設計業務であり、再積算したところ1200万円の不足が生じた。

【主な質疑応答】

問 経費種別の違いだけで予算額に1.5倍の差が出ているが、内容は。

答 調査・計画業務は、与えられたデータから作成して考え方を整理することである。それに対して設計業務は、現地の状況を確認して作図するため、人件費などの高騰も一因である。

契約事務の変更

令和4年11月に商工会を通じて建設業者に入札制度に関するアンケートを実施した。それにより建設業者の入札や契約制度に対する要望を把握し、変更を行った。

具体的には、条件を満たす場合に限り、現場代理人及び主任技術者の兼務を2件まで認めることなどを規定した。また、設計図書などの入手方法について、ホームページからダウンロードする方式に変更した。

【主な質疑応答】

問 町内事業者や個人事業主が参入しやすくなると思うが、品質面などの対策は。

答 町内事業者はランクに応じての入札参加となり、個人事業主が自由に参加できる制度ではない。町域が狭いので2か所の現場を管理することは可能であり、品質面は確保できると考える。

ただいた。使用上の注意をわかりやすく記載し、ピアノの周辺に掲示する。

【主な質疑応答】

問 設置場所で催し物やイベントなどがある場合、ステージでつまずいたりしないよう注意する方が良いのでは。

答 定期的には催しがあるため、その時期は基本的には使用しないようにする。つまずく危険性もあるため、ポールなどで注意喚起をする。



▲BiVi 土山に設置のストリートピアノ

表紙の題字は私が書きました



蓮池小学校 6年
にしやま いより
西山 維予里さん
の作品です

みんなの過ごしやすい 播磨町に

とつぜんですが、みなさんは播磨町の良い所はどこだと思いますか？ わたしは笑顔が多く人との交流が多い所だと思います。

なぜなら人々が交流できる場所がたくさんあり、だれもが自分の居場所を持って暮らすことができていると思うからです。たとえば大中遺跡では、学ぶことも遊ぶことも、のんびり過ごすことも可能です。私は特に、本などを読むことが好きです。たくさん歴史などの本が置いてある所があり、マンガで分かりやすく説明してくれている本もあって、楽しく勉強ができます。

そして播磨町ではイベントや祭りが多く、そこで友達や地域の人々との交流を深めることができます。祭りではダンスの練習の成果をみんなに見てもらうこともできます。スタンプリナーなどわいわいするのも楽しいです。

そんなふうに、人々の交流がさかんで笑顔あふれる播磨町が私はいいと思います。そんな播磨町が続いてほしいと思います。

～ステキな出会いがありました～



▲イメージキャラクター賞を受賞 「くす神(くすしん)」



▲播磨南中学校体育大会 カいっぱい応援合戦

Photo Memory
フォトメモリー

季節の花言葉

金木犀 (きんもくせい)

金木犀の花言葉は「謙虚」です。
秋になるとオレンジ色の花を咲かせて、
甘い香りを漂わせています。

12月定例会のご案内

町議会は、まちの予算や身近な問題について話し合う大切な場です。次回定例会の予定をお知らせします。

【12月定例会の日程】

- ▶日時 12月5日(火)・12日(火)・13日(水) いずれも午前10時から
12日、13日は一般質問の予定ですが、一般質問者数などによって変更になる場合があります。
- ▶場所 第1庁舎3階 議場 *車いすの方も昇降機により入場し、傍聴していただけます。
- ▶請願・陳情の締め切り 12月定例会で取り扱う請願と陳情の締め切りは11月27日(月)午後5時までです。
*当日は、インターネットで本会議の生中継を行います。過去の映像は常時放映中です。
町議会のホームページから「議会中継」を選びクリックしてください。
- ▶問い合わせ 議会事務局 Tel 079-435-2387

ざんじ
きやうけい



色彩あふれる紅葉の美しさに、心弾む季節となりました。灯火親しむ秋の夜長、いかがお過ごしでしょうか。

議会広報公聴常任委員会では、書き手としての研修や、代々受け継がれてきました創意工夫を凝らした紙面を踏襲しています。

本委員会では、さらに磨きをかけた内容で読み手の視点を大切にしました。プローチを検討しています。読み手の視点を取り入れた紙面を実現していくためには、住民の皆様の声を聴くことが不可欠になります。広報と公聴を、一方向ではなく双方への取組として確立し、議会が皆様にとって、身近で親しみやすい存在となりますことを目指し、「みんなのできる広報紙」を実現してまいりたいと思っております。

忌憚なくご指摘やご意見をいただきましたら幸いです。
(宮宅)